

Time: 1分11秒402

大谷啓浩さん



今回のために用意したというクロスミッション。筑波のヘアピンにはパッチリハマりそうだ。

タイヤRE070の225/45R17。まずはラジアルタイヤで行けるところまで行ってからSタイヤにステップアップしたいとのこと。ホイールはGDB純正のBBS。



スポーツ走行歴6年、3ヶ月に1回はサーキット走行をするという大谷さん。筑波でのベストは8秒前半。今回の目標は新たに入れたセンターデフとクロスミッションに慣れること。しかし1本目でエアフロが変調をきたし、エンジンが吹け上がらなくなるというアクシデントが発生。2本目で勝負をかけるはずだったのが残念！

サーキットなら街乗りで味わえない挙動を安全に体験できる！信頼できるショップ選びも大事

Time: 1分13秒780

河原実さん



1本目でホースが抜けてブローパイプが噴いてしまい、2本目までの間にホースとボルトを購入して対処したとのこと。

さらにインターバルの間、急速ブレーキのエア抜き作業を開始。こちらもなんとか間に合ったようだ。



ブースターケーブルと牽引ロープは常備！スベアタイヤの空気圧も確認しましょう



ゼロスポーツでフルチューンを施したBHは、本誌漢レガシィでもおなじみ。今回も新しいセッティングで臨んだハイパーミーティングだったが、そのセッティングもあまりうまくいっていない様子。「ハイパーミーティングは年に一回のお祭りです」ということで気合いが入っていたのに残念！来年はベストで臨んでくださいわ。

Time: 1分12秒074

木村真悟さん



タービンはTD06-20Gに交換し、エンジンもインプSTIのver.6に交換。かなりパワーは出ていそう。



HKS製のインタークーラーはもちろん前置きに。露出したパイピングと相まってかなりの存在感を放つ。



仙台ハイランドでの走行経験が豊富だという木村さん。クルマはノーマルエンジンがブローしたためインプレッサSTIバージョン6のエンジンに乗せかえ、タービンはTD-06へ。今回は出たくて仕方なかったというハイパーミーティングに初参加することができた。次は第2目標の漢レガシィ登場を目指す！

間雲に一人で走るより上手そうな人の後ろについていってみよう！

Time: 1分23秒683

植田允彰さん



去年はスクールに参加し、今年は走行会に挑戦という小誌的には「計画どおり」といった感じの植田さん。今回の走行会参加者では1台だけだったNA(TS-X)だが、タイヤをディレッツァのZ1に交換したりと気合い充分。ただ、実際に走るとブレーキまわりのキャパ不足を痛感し、フロントを15インチにしたいとのことだ。

NAでも全然楽しめますよ車高は下げた方がいいかも



Time: 1分10秒117

石部有紀さん



強化バーを利用したビデオ固定用マウント。かなりいいアイデアですが、もしかしてこのために買ったとか？



排気系はフロントパイプとリアピースを交換。ほかにはLSDも交換してたりと、なかなかツウっぽいモディファイ。



大阪からはるばる参加した石部さんは鈴鹿サーキットでの走行経験が豊富。大きいサーキットには慣れていると思われるが、さすがに初めて走るという筑波は「面白けど難しい！」と感じたそう。ブレーキキャリパーや車高調、LSDなどに手が入っているほか、車載カメラで走行の様子を録画。これ、後で参考になるんです。

とりあえず走ってみてそれから考えよう！レガシィなら大丈夫

Time: 1分18秒314

中根透さん



エンジン周りには基本的にほとんどノーマル。それでもサーキットを走るのは楽しいものだ。タワーバーはSTI製。



ローターはスリット入りに交換。パッドもアクレを選択し、とりあえずストップングパワーに不足はないとのこと。

ブレーキの冷却・強化対策とある程度ロールを抑えた足が必要



前回のハイパーミーティングでは普通に見学していた中根さんだが、今回はサーキット走行会へ参加！本庄サーキットなどを走った経験があるそうだが、筑波は初。クルマはほぼノーマルで、ブレーキパッドをアクレのフォーミュラーに換えているくらい。今日走ってみてやはり車高調を入れたくなったとのこと。